

2026 年度 13 期生 課題研究発表大会

1. 場所（日時）：ひらしん平塚文化芸術ホール（令和8年7月15日）

2. ね ら い：生徒が課題研究の成果と過程を発表し、研究内容を論理的に整理して他者に伝える力を養うことを目的とします。また、質疑応答を通して自らの研究を振り返り、今後の改善・発展につなげる機会とします。

3. 行事を通じての所感

本校の5年次から6年次で取り組んでいる、総合的な探究の時間「せかいラボ」での探究の成果を、13期生の代表生徒たちが発表しました。聴衆には、本校の14・15期生及び13期生の保護者のほかに、東海大学の大越先生、早稲田大学の藤井先生にお越しいただき、ご講評をいただきました。司会やタイムキーパーも生徒が行い、生徒中心の行事運営を行うことができました。

＜課題研究・発表テーマ＞

- ・「教授言語変更後におけるルワンダの特性を活かした持続可能な教育支援の在り方とは」
- ・「つながれば、あなたも世界を変えられる～いきぬきのみちすじを経て～」
- ・「他者と政治」
- ・「校内ナビから見たデジタル時代の壁」



壇上に並ぶ発表生徒たちと、生徒たちを紹介する松本校長

グループで研究に取り組んだ生徒たちは、一人ひとりが順番に説明をしていました





発表の後にある質疑応答では、下級生たちと活発な議論が交わされました

社会的なテーマに取り組み、積極的に大学やNPO等へインタビューを行うなど、自身の興味を「探究した」発表になっていました



原稿等を見ずに堂々と発表する姿は、聴衆として参加した14・15期生に良い影響を残したと思います